

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	居室内にご本人様が入居前に使われていた家具などの持ち込みが少なく、殺風景である。今までの生活の継続を目指すホームづくりのためご本人様愛用の品を居室内に持ち込んで頂けるよう説明するがご理解いただけないご家族もいらっしゃる。	各居室をご本人様の愛用品や趣味にあわせて持ち込んで頂き、自分の部屋づくりをめざし、落ち着いてくつろげる空間とする。	「自分らしい居室づくり」についてイメージできるよう、写真入りのリーフレットを作成し、それらを見ながら説明できるようにする。	1ヶ月
2	26	サービス内容が、ご利用者によっては、曖昧で実行しにくいものがある。	ケアの内容を具体的にし、だれがみても分かり易いプランにしていく。	ICFの視点に基づき、できること、できないことを洗い出し、ケアの内容を具体化し、だれがみてもわかるようなサービス計画を作成する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。